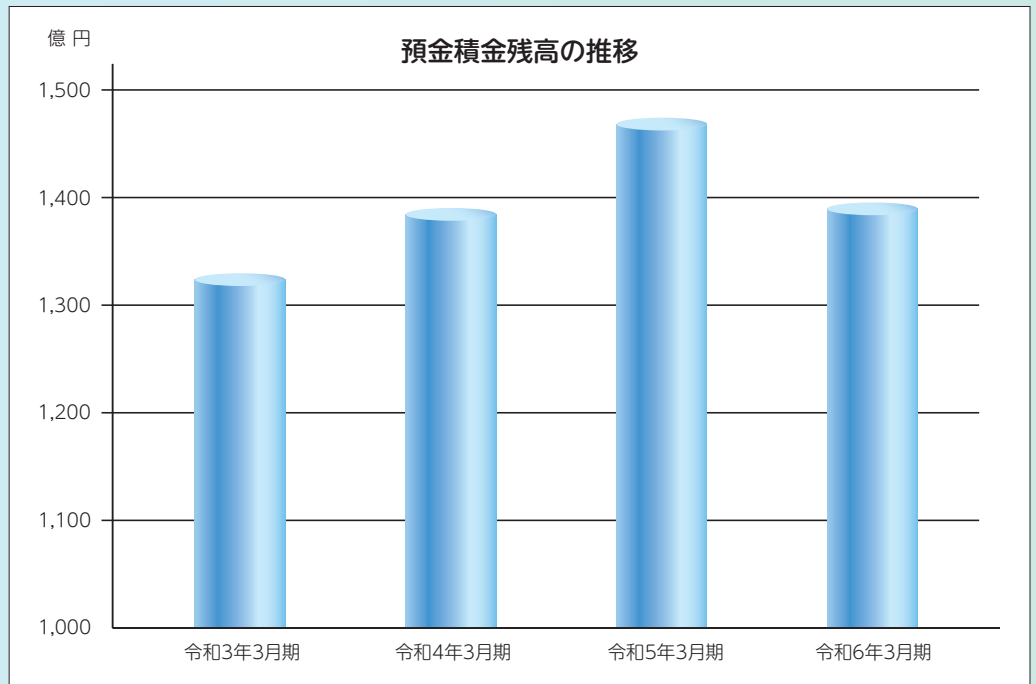


令和5年度の事業概況

令和5年度は第4次経営強化計画の初年度として、地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性向上に向け役職員が一丸となって取組んでまいりました。このような中、お取引先様の資金繰り支援に積極的に取組んだこと等により、貸出金は引き続き増加しました。他方、預金積金について、期中平均残高は増加しましたが、地方公共団体預金の払戻し等があった影響で、期末残高は令和4年3月期と同水準となりました。この結果、貸出金利息収入は20百万円増加しましたが、金利上昇懸念により債券購入を抑制したため、有価証券利息配当金が15百万円減少したこと等を主因に資金利益は1百万円減少しました。また、ビジネスマッチング手数料収入の増加や、経費抑制に努めたこと等により「コア業務純益」は335百万円を確保することができました。当期純利益は償却債権取立益や不良債権の減少等による貸倒引当金の戻入れ等により、前期比50百万円増加の323百万円となりました。これからもお取引先の皆様への感謝の気持ちを第一に、より一層信頼される金融機関となるべく役職員全員で取組んでまいります。

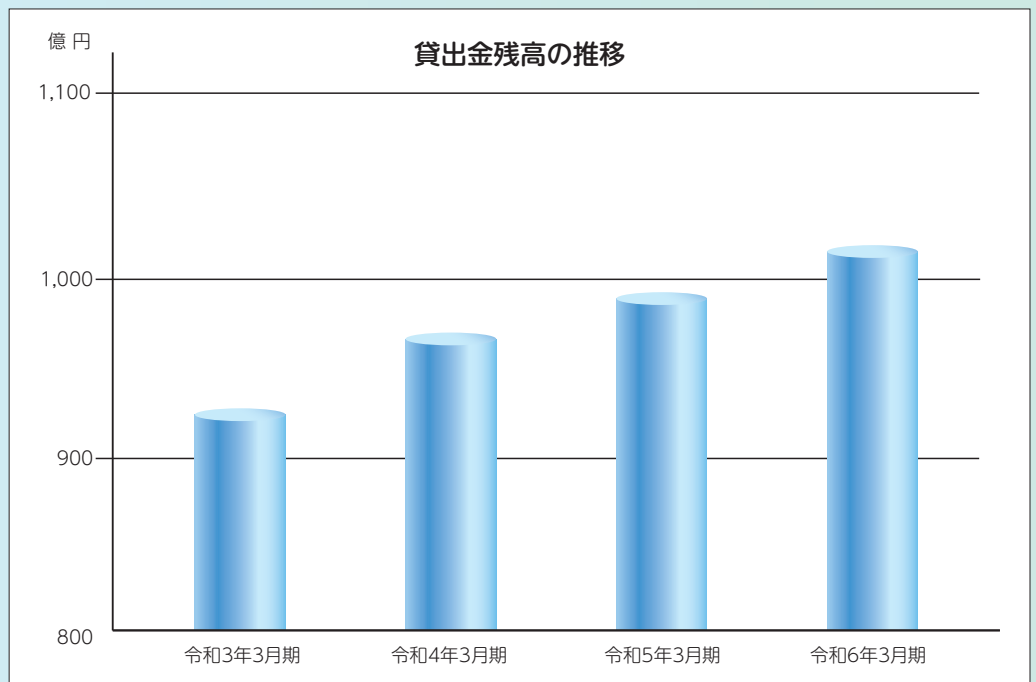
(1) 預金

令和5年度の期末預金残高は、大口の地方公共団体預金の払戻し等があり、1,389億円と前期末比79億円の減少となりました。



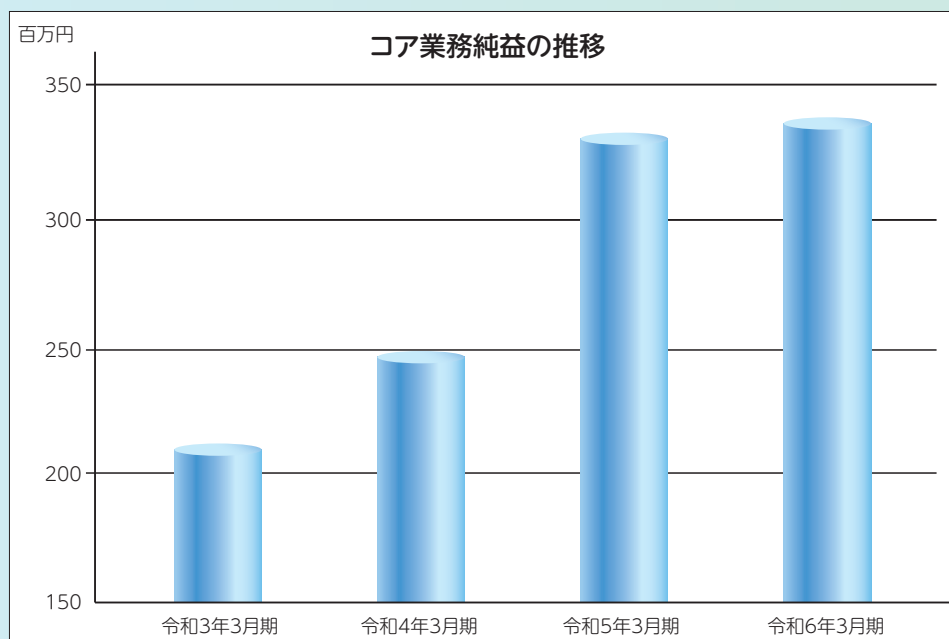
(2) 貸出金

役職員一丸となって、推進活動に努め、貸出金期末残高は、前期末比26億円増加の1,011億円となりました。



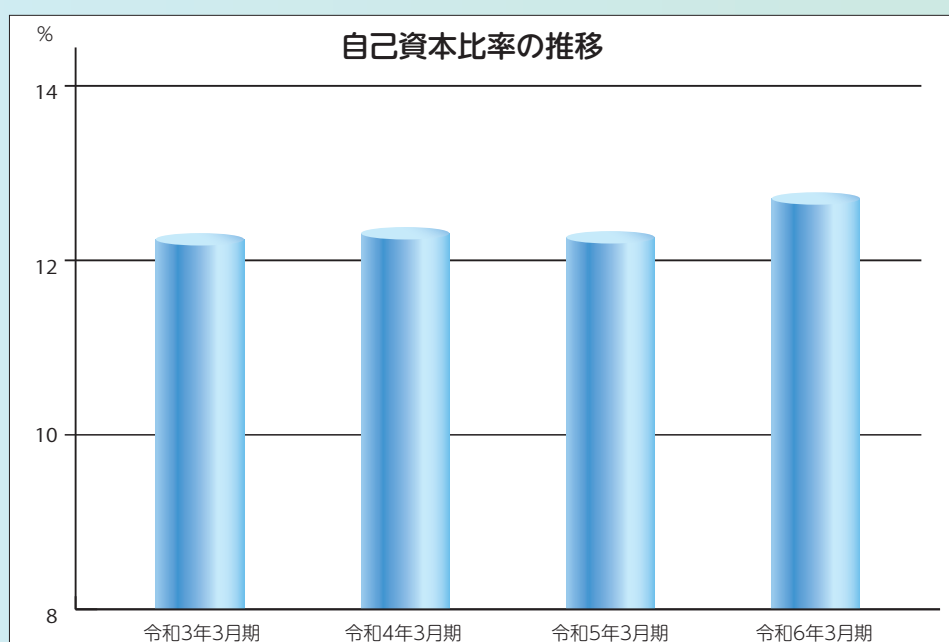
(3)コア業務純益

貸出金の増強と経費削減に努めたことより、「コア業務純益」は335百万円を確保することができました。



(4)自己資本比率

平成26年12月に公的資本90億円の注入を受けており、令和6年3月期の自己資本比率は12.71%と、健全性の基準である4%を大幅に上回っております。



主な経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
預金積金残高	132,403	138,521	146,951	138,993
出資金残高	8,086	8,095	8,098	8,126
貸出金残高	92,051	96,271	98,522	101,156
有価証券残高	24,815	21,877	18,740	14,889
資金利益	1,628	1,659	1,678	1,677
業務純益	151	206	328	334
コア業務純益	209	248	329	335
当期純利益	221	198	273	323
単体自己資本比率(%)	12.24	12.31	12.26	12.71